

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2022年1月18日

株式会社レーザックス レーザで拓く、今より先の技術

レーザ加工機による加工と加工システムなどの設計・販売を手掛けるレーザックス。創業以来、一貫してものづくりに携わり、多様なニーズに対応できる技術力を磨いた。代表取締役の近藤恭司氏にその歴史と強みなどを聞いた。

Company Data

社名：株式会社レーザックス

代表者：近藤 恭司

住所：知立市新林町小深田 7

電話：0566-83-2229

URL：<http://www.laserx.co.jp/>

紹介金融機関：碧海信用金庫

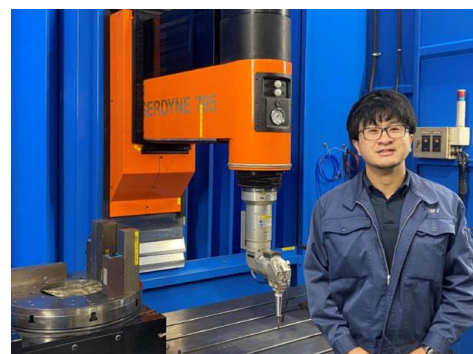


航空機部品がルーツ、戦後精密機械鑄造へ

当社の歴史は、1941年に創業者の近藤栄二が中島飛行機半田工場の協力会社として、近藤航空機製作所を創業したことに始まります。創業当時は、精密機械による旋盤加工を行っていました。

その技術をベースに1946年に丸真製作所を設立し、精密機械鑄造を開始しました。1965年には、精密機械設計・製作会社となる丸真精機を設立しました。1970年に丸真製作所を丸真重工に改称し、1984年には同社の鑄物工場に次なる戦略技術を導入する狙いでCO2レーザ加工機を導入して、レーザカッティングセンターを設立しました。

株式会社レーザックスは、このレーザカッティングセンターを分離独立して1988年に設立した会社です。設立当初はレーザがまだまだ知られておらず、世間での認知度もほとんどありませんでした。まして、ものづくりに有用な技術として利用する企業はごくわずかでした。



取締役 近藤大祐

そのため、設立当初の顧客は国や大学の研究機関、大手企業の研究開発部署などに限られていました。

しかし、当社はレーザがこれからの成長分野であると見定めており、実験的な加工を受託して、試験加工や試作品製作などを行うラボのような工場を目指すことにしました。

業務拡大と品質向上を両立し、ISO 認証を取得

事業拡大に伴い、1995年には東京営業所を開設し、2001年にレーザテクニカルセンターに改称して横浜市に移転しました。

また、品質向上に努め、1999年にレーザ加工部門と産業機械製造部門が、それぞれISO9001の認証を取得しました。さらに2008年には、レーザ加工部門が航空宇宙産業向けの品質マネジメントシステムAS9100 Rev.cを、2009年にはNADCAP（特殊工程）の認証を取得しました。

危機をチャンスに、グループ再編と新ブランド立ち上げ

2008年のリーマン・ショックで市場環境が悪化したことを契機に、当社の基盤強化を図るため、グループの再編を行いました。2011年にレーザックスと丸真重工、丸真精機を合併し、新生レーザックスとして再スタートを切りました。合併後は旧グループ3社の事業連携を加速させ、レーザ加工を軸に機械の製作、 castingの技術を連携させた事業を展開しました。また、レーザックスではレーザの受託加工だけでなく、レーザシステムを導入する顧客向けのシステムコンサルティングやオリジナルのレーザ周辺機器も設計し、販売するなど、業務の多角化に取り組んでいます。

レーザ加工の現場では、さまざまな材質や加工を効率よく行うことが求められており、幅広い要求事項にフレキシブルに対応できる優れた光学機器・レーザ加工周辺機器が必要とされています。そこで当社は、光学機器ブランド「OPTICEL（オプティセル）」を立ち上げました。信頼性や品質、カスタマイズ性に優れた光学機器を提供しようとの思いから生まれたブランドで、加工ヘッドや切断ノズル、溶接ノズルなどのほか、ハンドトーチ型溶接機を設計・販売しています。

蓄積したデータと技術、そして調和で未来を

私の大切にしている言葉は「調和」です。当社は、先代から兄弟3人で事業を引き継いできました。「調和」を大切にしてきたからこそ、幾度となく訪れた試練の度に、3人で知恵をしばり、協力できたからこそ事業を継続できたのだと考えています。

そして、社員にも互いの立場に立って気配りしてほしいという思いから、当社では行動指針「レーザックス WAY」を定めており、「調和」への思いを反映した内容になっています。



設立当初は12人だった従業員数も、現在では100人となりました。顧客も広がり、半導体や航空機、自動車、医療、工作機械と幅広い業界と取引させていただいています。

数多くの経験をもとに得られたデータや技術が当社の強みであり、身に付けた経験を生かして、顧客には今より先の技術を提案できる企業を目指しています。

これからも時代の変化をしっかりと見定め、レーザの光と技術で未来を拓いていく企業になっていきます。